

議題提案書

(1) 基本情報

議題種別	協議事項
議題名	人道支援における NGO を通じた ODA 予算の確保について
提案者の氏名	田浦久美子
提案者の所属	特定非営利活動法人パレスチナ子どものキャンペーン／ ジャパン・プラットフォーム NGO ユニット幹事会
提案者の役職	海外事業担当／連携推進委員

(2) 議題提案の背景

COVID-19 のパンデミックの深刻化や、紛争、自然災害、極度の貧困、気候変動の影響による強制移動、深刻な食糧不安など、国際的な人道状況は悪化の一途を辿っており、特に脆弱な立場にある人々がその影響を受けている。UN OCHA の Global Humanitarian Overview 2022¹によると、2022 年には世界で 2 億 7,400 万人が人道支援と保護を必要とし、この数は 2021 年の 2 億 3,500 万人から大幅に増加している。

世界的な人道ニーズが増加する中、日本の各 NGO は、保健医療、食料・栄養、保護、水・衛生、教育、生計向上等の各セクターにおいて、現地にプレゼンスを持ち、地域社会との密接なつながりを持つ強みを活かし、草の根レベルできめ細やかな支援を届けているが、日本の NGO に対する ODA の支援や NGO を通じてなされる援助は限定的である。

(3) 議題の論点（連携推進委員会で議論したい点）

第一に、悪化の一途を辿る国際的な人道危機に対し、日本としてのどのように予算確保をしていくのか、外務省の見解をうかがいたい。

第二に、人道支援における NGO を通じた ODA 予算の確保についてうかがいたい。

具体的には、日本の緊急支援活動を行うジャパン・プラットフォーム（JPF）の ODA 資金による NGO の事業実績が 2014 年度以降漸減している点、JPF に拠出された 2021 年度補正予算は、南スーダン国内（1.2 億円）とシリア国内（1.7 億円）の支援のみにとどまり、前年度補正予算による支援実績（約 12.6 億円）に比べ、7 割以上の削減であった点について、2022 年度当初予算も含めた今後の考えについてうかがいたい。

また、現在 JPF のミャンマー支援事業に対しては ODA 資金を付けることが認められておらず、アフガニスタン支援プログラムについてはプログラムが承認され、事業の審査もすでに終わっているが、政府承認が非常に遅延している。他方、日本政府よりこれらの国に対する国連機関向けの資金は拠出されている。日本政府として、なぜ NGO だけ別扱いで資金が出されないのか、NGO との連携をどのように考えているのかをうかがいたい。

(4) 出席を希望する外務省部局または担当者

国際協力局長、政策課長、緊急・人道支援課長、民間援助連携室室長

以上

¹ <https://gho.unocha.org/>